

1 1 . 2 5 P F A S (有機フッ素化合物) 汚染問題シンポジウム

2002年に、京都大学大学院医学研究科の小泉昭夫教授らが全国の河川で行った調査で多摩川流域でのPFOS汚染、大阪湾および神崎川流域でのPFOA汚染が見いだされた。多摩川流域に関しては、その数か月後に詳細な汚染源調査を行い、汚染源として横田米軍基地の可能性が高いことを指摘した。また神崎川流域に関しても、2003年に調査を行い、ダイキン工業淀川製作所（摂津市）が汚染源であることを特定した。その後、2019年には小泉研で大学院生時代からこの研究に関わってきた原田浩二准教授とともに、沖縄県普天間基地周辺の水道水汚染の実態を明らかにし、その後、三多摩地域の横田基地汚染などを明らかにしてきた。

このことに端を発したPFAS汚染問題は、全国各地の地下水、河川水、水道水などのPFAS汚染へと拡大している。汚染地周辺住民の血液検査では、高濃度も検出されているが、国や行政による検査は不十分な状況である。

本シンポジウムは、国内のPFAS汚染を最初に明らかにし、その後、PFOAの体内の動きや毒性を解明した小泉昭夫・京大名誉教授に過去のPFAS環境問題を概観し、今後必要な研究と包括的な法整備など提案していただく。ダイキン工業周辺のPFAS汚染問題に取り組まれている長瀬文雄氏と滋賀県内のPFAS汚染を調査されている畑明郎・元大阪市立大学教授が報告する。

・ **日 時**：2023年11月25日（土）

午後1時開場、午後1時30分開会、午後4時30分閉会

・ **会 場**：同志社大学新町キャンパス専真館3階Z30教室

（地下鉄烏丸線今出川駅下車・徒歩10分）ZOOMライブ配信※

・ **講 演**：PFAS汚染問題とは何か：小泉昭夫（京都大学名誉教授、公益社団法人京都保健会 社会健康医学福祉研究所長）

・ **報告1**：大阪府下のPFAS汚染とその影響：長瀬文雄（大阪PFAS汚染と健康を考える会事務局長、公益財団法人 淀川勤労者厚生協会副理事長）

・ **報告2**：近畿地区と滋賀県内のPFAS汚染：畑明郎（元大阪市立大学教授）

【フロアとの質疑討論】

主催：日本科学者会議（JSA）近畿地区会議 / 協賛：現在依頼中 / 事務局（連絡先）：

JSA 京都: 竹中寛治 tak.kanji@gmail.com、JSA 滋賀: 畑明郎 hata.akio@gaia.eonet.ne.jp

※ <https://us06web.zoom.us/j/89789860474?pwd=343GQ9xOP2bTURF79JDSZyDz145ab6.1>

ミーティング ID: 897 8986 0474 / パスコード: 983172

